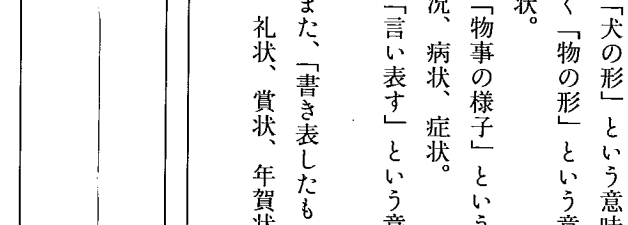
状

五年

画数 7
筆順 丨 丬 爿 爿 状 状
オン ジョウ
クン

成り立ち



〝形〟という意味の〝象（4年547）〟と同じ発音なので〝形〟という意味をかりた〝月（ジョウ）〟と、〝犬〟とを組み合わせて作った字です。

「犬の形」という意味を表したものですが、今では、広く「物の形」という意味に使われています。例形状、球状。

「物事の様子」という意味にも使われます。例状態、状況、病状、症状。

「言い表す」という意味にも使われます。例白状、名状。

また、「書き表したもの」の意味にも使われます。例書状、礼状、賞状、年賀状。

使い方

▽わたしたちの住んでいる地球が、球状をしていると初めて聞いた時には、とても信じられませんでした。

▽おばあさんの病状がとても良くなりましたので、わたしはとてもうれしいです。

▽ぼくのクラスの出席状況は、学校で一番よい、と発表されました。

熟語例

▽球状（球の形）

▽状態（態は〝すがた〟。「物の形やすがた」という意味。〝物事の様子〟という意味に使われます。）

▽状況（況は〝様子〟。〝物事の様子〟。ありさま）

▽病状（病気の状態。病気の様子）

▽症状（症は病気の性質や様子のこと。〝病状〟と同じ意味に使われています。）

▽白状（白は〝すっかり〟の意味。何もかもすっかり言い表すこと。失敗や悪い事など、言いにくい事を言うのに使います。）

▽書状（〝手紙〟のこと。〝書簡〟のこと。）

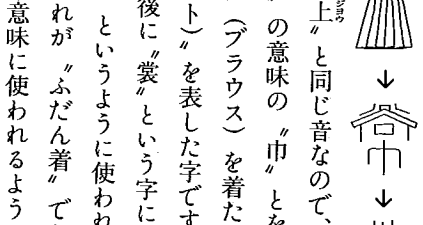
▽礼状（お礼の手紙）

常

五年

画数 11
筆順 丨 小 尚 尚 常
オン ジョウ
クン つね・とこ

成り立ち



〝上（ジョウ）〟と同じ音なので、〝上〟の意味をかりた〝尚（ジョウ）〟と、〝布〟の意味の〝巾〟とを組み合わせて作った字です。

衣（ブラウス）を着た上に、腰にまきつける〝布〟（スカート）〟を表した字です。今の〝スカート〟を表した字で、後に〝裳〟という字になり、〝衣裳（ブラウスとスカート）〟というように使われることになりました。

これが〝ふだん着〟でしたから、〝ふだん（つね）〟という意味に使われるようになりました。例平常、常時、常態。

〝ふつう〟〝あたりまえ〟という意味にも使います。例正常、常道、常識。

また、〝いつも変わらない（とこ）〟という意味に使います。例常夏、常春、常夜、恒常。

使い方

▽「非常の場合どうするか、ということを常に頭の中に入れておきなさい」と、お母さんに教えられました。

▽ぼくは、正月休みに、常夏の国ハワイへ行って来ました。正月休みなのに、半袖のシャツでいられるのでふしぎな気がしました。

熟語例

▽平常（平は〝平ら〟で「ふつうの様子」。ふつう、ふだん、という意味）

▽常時（常に、いつも、ふだん。例常時、薬をもって外出している。）

▽常態（平常の状態。ふだんの様子。ふつうのすがた。例この油は、今は固まっていますが、常態では液状です。）

▽正常（正しく、ふつうの状態。例機械が正常に動いている。対「異常」）

▽非常（正常でないこと。火事や地震などの〝異常〟な出来事の意味に使います。）

▽恒常（恒も常も「いつも変わらない」こと。）

▽常夏（いつも夏の気候であること。）